

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*** 東京天文台 100周年記念誌資料ーその3-14ー(90周年記念式典スナップ写真など)**

アーカイブ新聞第793号(2015年4月30日)から「東京天文台100周年記念誌作成時の資料ーその3ー」について、その具体的資料について記事を書いている。今回は、アーカイブ室新聞第353号(2010年6月21日)「東京天文台100周年記念誌作成時の資料ーその3ー」の14項目の

14. 御恵存と書かれた封筒 中に90周年記念植樹の写真、広瀬台長あいさつの写真、昭和44年10月18日の一般公開の写真3枚(ベーカナン見学の写真がある)の写真について報告する。

これらの写真は11枚あり、写真1の封筒に入っていた。表には「御恵存」と書かれ提供者の名前が竹内とある。この竹内というのは天体掃索部にいた竹内端夫氏であろう。

中の写真は東京天文台90周年記念日(1968年昭和44年10月19日)のスナップ写真8枚と昭和44年10月18日の東京天文台一般公開のスナップ写真3枚である。

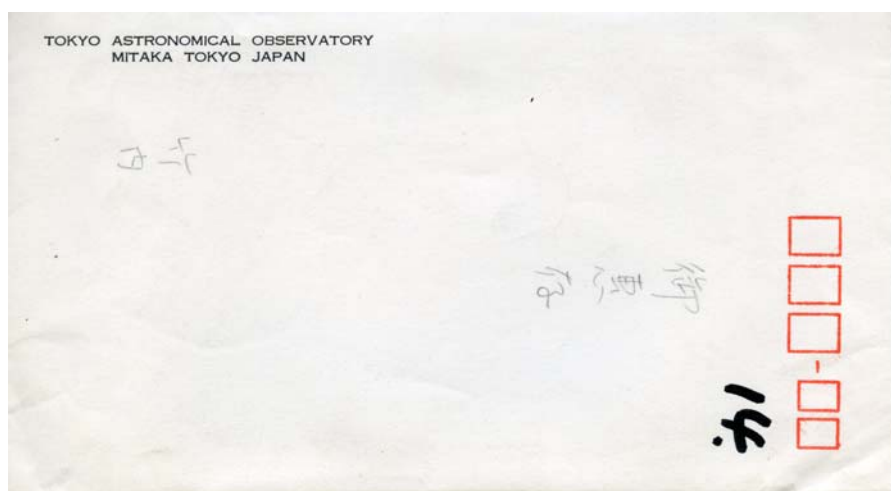


写真1

東京天文台90周年記念式典は1968年10月29日であった。それ以来東京天文台記念日は毎年10月29日とされ、この日に近い上限の月に近い土曜日が東京天文台の一般公開の日とされていた。

当時は、第7代台長広瀬秀雄氏の時代であった。7枚の写真のうち5枚が講義室での広瀬台帳の挨拶の写真であり、演壇の脇には「台長杯」のカップと賞品が積まれている。そして2枚は記念植樹の写真である。当時は台長杯が授与される野球大会とか、テニス大会とか、いろいろな行事があった。排球部というものもあり、バレーボールコートもあったので

ある。写真 2～6 が 90 周年記念式典の台長挨拶の写真、写真 7 は当日の正門の写真であり、日章旗が掲げられている。写真 8、9 が記念植樹の写真である。



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5



写真 6



写真 7



写真 8



写真 9

次は、昭和44年10月18日の一般公開日のスナップ写真である。写真9、10は受付テント風景、写真11はベーカーナン・シュミット望遠鏡の見学光景であり、奥には太陽単色写真儀（モノクロ）ドームが見える。



写真9



写真10



写真11 ベーカーナン・シュミット望遠鏡見学風景

当時は、東京天文台の一般公開には三鷹駅から臨時バスが運行されており、構内に入っていた。またベーカーナン・シュミット望遠鏡は三鷹にあり、その後堂平観測所に移設された。ベーカーナン・シュミット望遠鏡の後方には太陽単色写真儀（モノクロ）のドームが写っている。このあたりは現在は東京大学大学院理学研究科天文学教育研究センターの敷地になっている。また、記念植樹の後ろには車庫が写っているが、この植樹で植えられた木は同定できないでいる。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp